

県土・まちづくり

施策の方向性



京浜臨海部、県西地域、三浦半島地域、相模湾沿岸地域などで、各地域の魅力や特性を生かし、県民やNPO、市町村等との連携により、地域づくりを総合的に進めます。

持続可能な都市の実現に向けて、地域の実状に応じた効率的な基盤整備や、適切な維持管理による施設の長寿命化など、都市基盤の充実を図るとともに、水とみどりのネットワークの形成に向けて、河川や海岸の美しい自然環境の保全と創出、都市公園の整備などに取り組みます。

広域的な交通利便性の向上を図るとともに、地域経済の活性化や安全で災害に強い県土づくりを実現するため、自動車専用道路をはじめとする幹線道路(主要な道路)の整備や、地域を分断し、円滑な交通の流れが妨げられている大河川への橋りょうの整備、鉄道との立体交差化などを進めます。

利便性の高い鉄道網の整備や既設の鉄道施設の改良・有効活用などを促進します。

実施計画

主な担い手ごとに期待される役割(例)

戦略プロジェクト33~38の主な担い手ごとに期待される役割(例)は、次のとおりです。

県民

地域資源を活用した魅力ある地域づくりのための事業への参画など

企業(事業者)・NPO

地域づくり事業の企画・実施など

市町村

地域資源を活用した魅力ある地域づくりのための事業の実施など

県

県域や市町村域を超えた連携事業の推進や道路など交通基盤の整備促進など



戦略プロジェクト33

羽田空港の再拡張・国際化と京浜臨海部活性化

戦略プロジェクトのねらい

企業の活動や県民の利便性の向上に役立つ羽田空港の再拡張・国際化と、その効果を県全体の活性化につなげる「神奈川口構想」の実現に向けた取り組みを推進します。

ロボット関連産業、エコ・エネルギー関連産業、ゲノム・バイオ関連産業などの新たな産業の創出や、エネルギー産業など既存産業の高度化・統合化を推進することにより、京浜臨海部の産業の一層の活性化をめざします。

取り組む事業

羽田空港の再拡張・国際化の推進に取り組みます。神奈川側から多摩川を渡り羽田空港に至る連絡路の整備を促進します。

羽田空港の対岸地域の川崎殿町・大師河原地区への企業誘致などに取り組みます。

川崎縦貫道路(期のうち殿町～大師区間)の整備を促進します。ロボット関連のプロジェクトの事業化などに向け情報発信やビジネス交流会を開催します。

コンビナートの高度化・統合化の推進に向けて取り組みます。理化学研究所横浜研究所との連携などにより、ゲノム・バイオ関連産業の創出を支援します。

インベスト神奈川などを活用し、企業誘致や既存産業の支援を進めます。

目標 京浜臨海部(京浜三区)における製造品出荷額等(単年度)

現状(2006年度)見込

4.24兆円

2010年度の目標

4.28兆円

目標 京浜臨海部の鉄道駅における一日当たりの乗車数(単年度)

現状(2006年度)見込

455,000人

2010年度の目標

475,000人



京浜臨海部の工業地帯

戦略プロジェクト34

三浦半島の魅力あふれる地域づくり

戦略プロジェクトのねらい

首都圏でも貴重な、まとまった緑地や美しい景観、豊かな歴史的・文化遺産などの地域資源を生かした地域の活性化に取り組みます。

交通網の整備などにより、地域の人々が快適にくらすとともに、首都圏や海外からも多くの人々が訪れ、楽しめるような地域づくりを進めます。

取り組む事業

首都圏における水とみどりのネットワークの拠点となる国営公園の誘致に取り組みます。

源流から干潟まで連続している首都圏で唯一の貴重な自然である小網代の森の保全を進めます。

鎌倉の豊かな歴史的・文化遺産を守り後世に伝えるため、世界遺産登録の実現とその活用に取り組みます。

三浦縦貫道路(期)などの整備を進めます。地域資源を生かした多彩なツーリズムや、情報発信などを実施します。

目標 三浦半島地域への入込観光客数(単年度)

現状(2006年)

32,069千人

2010年の目標

33,000千人



三崎港で水揚げされるまぐろ



戦略プロジェクト35

環境共生モデル都市圏の形成

戦略プロジェクトのねらい

東海道新幹線新駅の誘致をめざす寒川町倉見地区と相模川対岸の平塚市大神地区とを新たな橋でつなぎ、両地区を一体的な都市「ツインシティ」として整備します。また、県央・湘南都市圏の交通ネットワークを強化するため、JR相模線やさがみ縦貫道路などの整備を促進します。

このほか、都市圏の豊かな自然を生かし、環境負荷の少ない都市づくりのための取組みを進めます。

取り組む事業

東海道新幹線新駅やリニア中央新幹線の建設促進と駅誘致のため、国やJR東海などへの要望や広報活動・設計などを行います。

環境共生モデル都市ツインシティの整備に向けて、まちづくりや橋建設の準備を行います。

JR相模線の複線化促進のため、国やJR東日本などへの要望や広報活動を行います。

さがみ縦貫道路や厚木秦野道路(国道246号バイパス)などの整備を促進するとともに、(仮称)綾瀬インターチェンジの事業化に向けた取組みを進めます。

相模川の堤防を利用して自転車道や、公園・緑地の整備を進めます。

目標 環境共生モデル都市ツインシティ整備に向けた取組み(単年度)

現状(2006年度)

調査、設計
環境アセス

2010年度の目標

調査、設計・
事業化準備



新幹線新駅誘致地区周辺と相模川

戦略プロジェクト36

相模湾沿岸地域の魅力の保全と創造

戦略プロジェクトのねらい

相模湾沿岸地域のなごさや浜辺のみどり、海辺の景観の保全・再生に取り組めます。

相模湾沿岸の地域資源を保全・活用し、海と歴史に育まれた“湘南”と“なごさ”の文化を県民と行政との協働・連携により全国に発信していきます。

取り組む事業

茅ヶ崎海岸などの海岸侵食対策を進め、なごさを保全・再生します。湘南海岸砂防林の枝打ちや枯れ木の伐採など保護育成を図ります。

相模湾沿岸地域における魅力ある公共空間の形成を推進します。近代建造物と邸園を保全・活用した地域づくりを進めます。

大磯城山公園と一体化した県立都市公園として、旧吉田茂邸を保存・整備します。

みなとまちづくりのためのイベントなどを開催し、みなとを核とした地域の活性化を図ります。

相模湾沿岸の魅力を発信するイベントなどを実施します。

目標 県と協働・連携して相模湾沿岸の地域資源の保全・活用を進める団体数(単年度)

現状(2006年度)

85団体

2010年度の目標

115団体



旧吉田茂邸



戦略プロジェクト37

交流・連携による県西地域の活性化

戦略プロジェクトのねらい

富士・箱根・伊豆に連なる豊かな自然、歴史的、文化的遺産などの地域資源に恵まれた県西地域の活性化に向けた取り組みを進めます。

具体的には、国内外からより多くの観光客が来るよう、国際観光地箱根をはじめとした地域の魅力向上への取り組みを進めます。

また、地域間の交流連携や産業拠点へのアクセス強化のため、総合交通ネットワークの形成に取り組めます。

取り組む事業

国際観光客の誘致などに向けて、山梨・静岡両県や関係市町村と連携した取り組みを進めます。

花と水の交流圏の観光・交流スポットの整備を支援します。

酒匂川流域を中心とした都市づくりを推進します。

県西地域の観光情報や物産をPRするため、観光物産展を開催します。新たな魅力あふれる箱根づくりに向けた拠点整備や、箱根をめぐるためのウォーキングコースなどを整備します。

観光関連事業者などと連携した観光キャンペーンを実施します。

小田原駅周辺のまちづくりを支援します。

県立おだわら諏訪の原公園などを整備します。

国道1号(小田原箱根道路)や小田原環状道路などの整備を進めます。

目標 県西地域への入込観光客数(単年度)

現状(2006年)

34,227千人

2010年の目標

34,800千人



富士箱根伊豆交流圏(芦ノ湖)

戦略プロジェクト38

安全で活力ある県土づくり

戦略プロジェクトのねらい

本格的な人口減少社会の到来など大きな変化にも揺らぐことのない活力ある県土の形成に向け、地域の特色や資源を生かしたまちづくりを進めます。また、県内の地域間だけでなく、県外との連携も強化し、これまで以上に人やモノ、情報などが円滑・迅速に流れる利便性の高い鉄道網や道路網の整備を進めていきます。

また、「減災」の視点を重視し、施設整備とソフト対策が一体となった自然災害に強い県土づくりを進めます。

取り組む事業

神奈川東部方面線などの鉄道の整備を促進します。

さがみ縦貫道路や第二東名高速道路などの自動車専用道路の整備を促進するとともに、(仮称)綾瀬インターチェンジの事業化に向けた取り組みを進めます。

自動車専用道路網を補完し、これらと一体となって地域交流の基幹となる津久井広域道路などの整備を進めます。

相模川などの堤防を利用した自転車道などの整備を進めます。

災害時に緊急輸送路となる橋の耐震補強工事を行います。

洪水の被害を防止するため河川の総合的な治水対策を進めます。

がけ崩れによる災害を防止するための急傾斜地崩壊防止施設の整備を進めます。

津波災害や水害、土砂災害の対策として、被害想定範囲をまとめた地図を作成し、市町村へ提供します。

目標 インターチェンジまでの距離5 km以内の地域の割合

現状(2006年度)

80%

2010年度の目標

87%

目標 減災のための防災情報の提供率(水害対策)

現状(2006年度)

43%

2010年度の目標

100%



総合的な治水対策を進めている河川